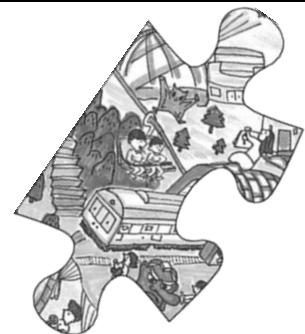


第5章 生涯学習の施策展開

第1節 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～

基本施策Ⅰ 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～				
目指す姿	●子どもたちが家庭の環境によらず、多様な体験活動に参加できている。 ●誰もが、いつでも、どこでも、学べる環境で、生涯にわたり多様な学びに取り組んでいる。 ●みんながともに学び、みんなが地域の一員として支えあいながら生涯学習活動に取り組んでいる。			
施策展開の方向性	●子どもが大人とともに学びあう機会を充実します。 ●家庭環境によらず、全ての子どもたちが体験活動に参加できるように取り組みます。 ●学びのきっかけづくりや、いつでも学び直せるなど、多様な市民ニーズに対応した学習環境づくりを進めます。 ●共生社会の実現に向けた学習機会を充実します。			
施策の展開	01	子どもの頃から始める生涯の学び	001	子どもたちが体験できる機会の充実
			002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実
			003	青少年の海外交流・都市間交流の実施
	02	人生100年時代を見据えた多彩な学習機会の充実	004	人生を豊かにする多様な講座の提供
			005	郷土の歴史や文化財に親しむ
			006	文化芸術に触れる
			007	読書のまち八王子の推進
			008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実
			009	社会人の学び直しの支援（リカレント教育）
	03	共生社会実現に向けた生涯学習の支援	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援
			011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組
			012	性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び



基本施策1 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～

施策の展開01

子どもの頃から始める生涯の学び

【現状と課題】

- 様々な施設・機関で各種講座を行い、市民への学習の機会を提供しています。中でも八王子「宇宙の学校」や、自然観察会などは八王子市らしい取組として定着してきています。
- 子どもの体験不足が指摘されている中、地域資源を活かした学びの機会を多角的に提供しています。今後、さらに日本の伝統的な生活スタイルを体験する機会等について、高齢者と子どもとの多世代交流を図りつつ拡充するなどの取組が必要です。
- 海外友好交流都市など、本市とゆかりのある国内外の都市との青少年の相互訪問により、相互の文化に理解を深め、交流を通して友情を育んでいます。

【具体的な施策】

■ 施策 001 子どもたちが体験できる機会の充実

＜内 容＞ 地域の特性を活かした体験の機会を充実し、多世代交流を図りつつ、全ての子どもたちに体験の機会を提供します。また、子どもが自由に豊かな外遊びの体験ができる事業を実施する人材を育成し、地域の団体の取組を支援します。

＜取組例＞

● 自然体験・自然観察会	本市の特長でもある豊かな自然を活かし、市民を対象とした自然観察会を行う。
● 出張体験講座	市内小学校に講師を派遣して、子どもたちに多様な体験型講座を実施する。
● 赤ちゃんふれあい事業	市内の中学校と地域の関連機関が連携して、中学生が乳幼児や妊婦とふれあう機会を提供し、命の大切さを再認識するとともに、自尊感情を育む。
● 子ども体験塾「オーケストラ・ワンダーランドへようこそ！」	オーケストラを実際に鑑賞する機会の少ない子どもたちに、迫力ある生の演奏を体感する機会を提供し、音楽への興味と豊かな感性を育む。
● 八王子浅川水辺の楽校	生き物の採集やボートでの川遊びなどの体験活動を通して環境教育の充実を図るとともに環境を大切にする心と行動力を育てる。

■ 施策 002 子どもたちに向けた各種講座・教室の充実

＜内 容＞ 地域との協働を推進し、地域の特長を活かした学習機会を提供します。

＜取組例＞

● 八王子「宇宙の学校」	実験工作に取り組むスクーリングと日常の家庭学習を組み合わせ、宇宙や科学と家庭・地域を結びつけ、探究心の強い子どもたちの育成を図る。
--------------	---

● 青少年講座	子どもたちに社会体験、職業体験、伝統文化体験をはじめとする多様な体験学習の場を提供し、自発的・主体的な学習活動の基礎をつくる。
● ジュニア育成事業	トップアスリート等から指導を受けることにより、子どもたちの競技力と意識の向上を図る。
● 夏休み子どもいちょう塾	大学コンソーシアム八王子加盟校の先生たちが、その大学・学部等の特色を活かして、子どもたちに夏休みの特別教室を開講する。
● 謎解き！脱出ゲーム	子ども向けグループワークプログラムとして、提示された課題をグループで話し合い協力しながら解決することで協調性等を育む。
● 学校等への車いす等体験学習	児童・生徒を中心に、福祉講話・車いす体験・高齢者疑似体験・点字体験・アイマスク体験を実施する。
● 夏休み体験ボランティア活動	中学生から青年を対象に、高齢者施設・障害者施設・保育園等の協力のもと、施設内のボランティア活動を体験する。

■施策 003 青少年の海外交流・都市間交流の実施

＜内 容＞ 友好都市等との青少年の交流を継続し、お互いの地域について学ぶとともに、友情を育み豊かな心を育てます。

＜取組例＞

● 青少年海外交流	海外の青少年と交流し、国際理解を深め、異文化・外国語でのコミュニケーション体験により国際的視野を持った青少年を育成する。
● 北海道白糠町小学生交流事業	本市と歴史的なゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し、互いの地の歴史や文化を学ぶとともに、友情を育み、親善を深め、相手を思いやる心を醸成する。



▲八王子ゆかりの地で自然体験



▲八王子の歴史を学ぶ

基本施策1 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～

施策の展開02

人生100年時代を見据えた多彩な学習機会の充実

【現状と課題】

- 様々な施設・機関で各種講座を行い、市民への学習の機会を提供しています。中でも、市民自由講座、八王子学園都市大学（いちよう塾）などは、八王子市らしい取組として定着してきています。
- 令和元年（2019年）の市政世論調査において、この1年間に生涯学習活動に取り組んだ市民の割合について、57.9%に留まっていることから、学びのきっかけづくりを進め、学びを身近に感じられるように行う必要があります。
- 100年という人生を豊かに送るという視点から、社会人の学び直し（リカレント教育）に関する需要が高まっています。



【具体的な施策】

■施策004 人生を豊かにする多様な講座の提供

<内 容> 人生を豊かにする多様な講座を提供します。

<取組例>

● 市民自由講座	歴史、文学、健康等、多種多様な分野の講座を市民団体・大学・企業などと連携して実施し、市民の生涯学習活動のきっかけづくりとする。
● 八王子学園都市大学（いちよう塾）	大学等の高度で専門的な学習機会を継続的に提供し、市民の生きがいづくりやまちの活性化に貢献することを目指す。
● 消費生活講座・講演会	自立し、自ら行動する消費者市民を育むため、各種消費生活講座・講演会等を開催し、消費者への啓発を図る。

■施策005 郷土の歴史や文化財に親しむ

<内 容> 市の伝統文化や歴史を理解する学習機会を提供します。

<取組例>

● 郷土資料館講座・体験学習	郷土の歴史や文化財への関心を高めるような講座及び体験学習を実施する。
● 文化財見て歩き	郷土の歴史や文化に親しみ、理解を深めるため、地域の文化財を市民に紹介しながら巡る。
● 八王子車人形と民俗芸能の公演	八王子車人形や説経節（説経浄瑠璃）・獅子舞・木遣などの公演を通して、市固有の伝統芸能への興味を深めるとともに、伝統芸能の継承について理解と関心を高める。

■施策 006 文化芸術に触れる

＜内 容＞ 身近なところでの参加・体験を通して、文化芸術に触れる機会を提供します。

＜取組例＞

●八王子市民文化祭	市民による文化芸術活動の発表及び市民への鑑賞の機会を提供することにより、市民文化の振興を図る。
●コミュニティオペラ	市民に身近な場所でオペラ合唱を学ぶ機会を提供し、文化芸術への市民参加の普及を促進する。

■施策 007 読書のまち八王子の推進

＜内 容＞ 「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめるまち八王子の実現を目指します。

＜取組例＞

●全ての世代への切れ目ない読書活動の支援	ブックスタートや学校図書館連携、大学生インターンシップの受入、八王子千人塾などの取組により、乳幼児から高齢者まで、全ての世代の読書活動を切れ目なく支援する。
●つながりによる図書館サービスの展開	市民の学びを支えるため、地域の情報拠点としての機能の充実を図るほか、図書館と市民、様々な関係団体との連携により地域コミュニティの活性化に寄与する。
●誰もが快適に読書に親しめる環境整備	居心地の良い空間の創出など利用者目線での身近な読書環境の整備、支援が必要な高齢者・障害者や外国人市民などに配慮したサービスを展開し、誰もが快適に読書に親しめる環境を整備する。

■施策 008 スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実

＜内 容＞ スポーツ・レクリエーションに親しむ機会を充実させ、自分にあったスポーツ・レクリエーションの楽しみ方を発見します。加えて、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機にしたスポーツ学習やオリンピック・パラリンピック精神の学習を推進します。

＜取組例＞

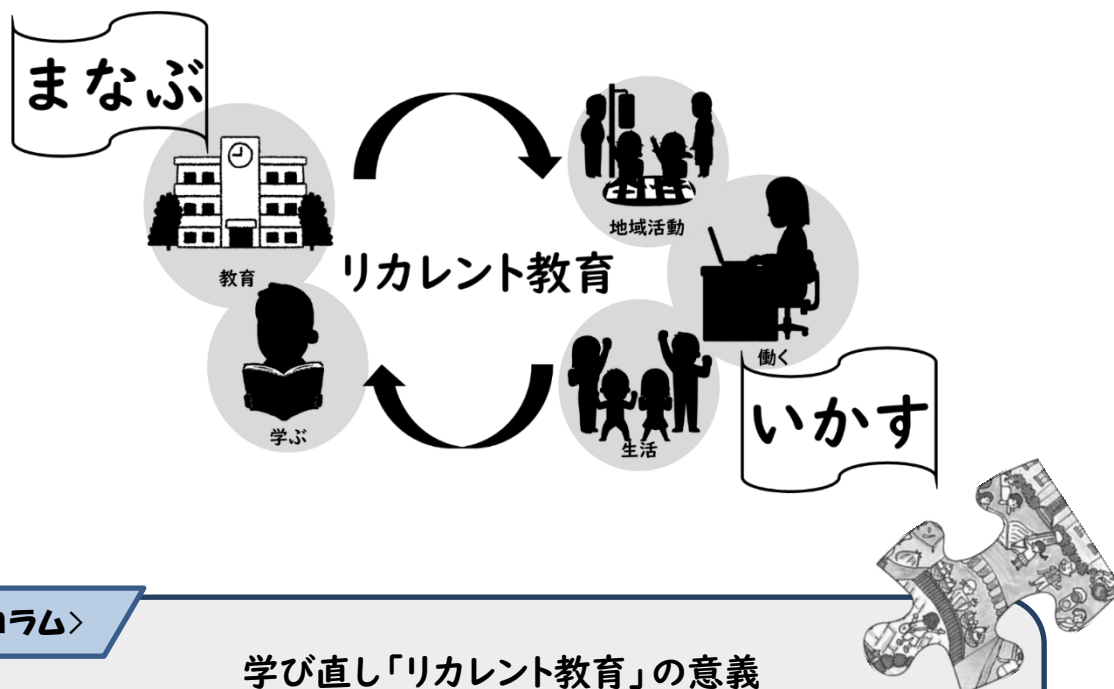
●ネオテニス親子教室	親子参加型のスポーツの場を提供し、八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」の普及啓発を図る。
●ヘルシーウォーキング	市内の名所や自然を感じる施設を巡るウォーキング大会。本事業により、市民の体力、健康増進意識の向上を図る。
●夏山登山入門	スポーツ・レクリエーションの普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で開催する。
●ふれあい運動会	障害者や支援者・ボランティアなどが自主的に運動会を企画・運営し、障害のある人となない人との交流と障害に関する理解を促進する。

■施策 009 社会人の学び直しの支援（リカレント教育）

＜内 容＞ 様々な機関・大学等と連携し、何歳になっても学び直しができるようリカレント教育の取組を行います。

＜取組例＞

●社会人の学び直し情報の提供	社会人が学び直しをする際に必要となる情報を、関連する所管や機関、大学等と連携して集め、提供する。
●本気の創業塾	市と商工会議所が共同で運営するサイバーシルクロード八王子において、八王子で創業したい人を対象に創業に必要な基礎知識を学ぶ機会を提供する。



＜コラム＞

学び直し「リカレント教育」の意義

我が国は、健康寿命が世界有数の長寿社会を迎えていて、若者から高齢者まで全てのの人に活躍の場があり、全ての人が元気に活躍し続ける社会を構築することが重要な課題になっています。

こうした人生100年時代を見据え、年齢にかかわらず学び直し（リカレント教育等）を行い、能力を高めることには、2つの大きな意義があります。

一つは、これまでのような新卒で就職した企業に定年まで働くという単線的な職業キャリアではなく、「学び直し」によって転職や起業を行うなどの多様なキャリア形成、「人生の再設計」が可能となることです。

二つめには、第4次産業革命の技術革新が進む中で、「学び直し」によって、新技術に対応したスキルや、AI等の機械に代替されにくい能力を身に付けることが可能になることです。



<コラム>

そもそも「リカレント教育」ってなに？



「リカレント教育」という言葉が出てきたけど、
どんな意味なの？



うーん、難しい質問だね

えっ、難しいの？

いや、色々な場面で様々な意味で使われているからね。「リカレント教育」を一言でいうなら「学び直し」だけど

確か、1973年に経済協力開発機構（OECD）の
教育政策会議で取り上げられたとか
「循環・反復型の教育システム」だったような

そうだね。よく知っているね

日本の文部科学省の説明では、
「リカレント教育」は「学校教育」を人々の生涯にわたって分散させようとする理念であり、
その本来の意味は「職業上必要な知識・技術」を習得するために「フルタイムの就学」と、「フルタイムの就職」を繰り返すことであるとしている

でも、広い意味では
「社会人になってからも、学校などの教育機関に戻って学習し、再び社会へ出ていくことを生涯にわたり続けることができる教育システム」のことを指して使われることもあるよ

なるほど！
このプランでは、広い意味の方だね

基本施策1 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～

施策の展開03

共生社会実現に向けた生涯学習の支援

【現状と課題】

- 全ての人が、地域において、世代を超えて互いに交流しつつ、豊かに生きていくために、特に障害者の学びの機会が求められているほか、日本語を母語（幼少期より自然と使っている言語）としない人への生涯学習支援も必要とされています。
- 情報化社会が加速し、情報が得られる人と得られにくい人との格差生まれることが懸念されています。

【具体的な施策】

■施策010 障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援

＜内 容＞ 障害者など支援を必要とする人の学習を支援します。また、障害のある人の活動や作品の発表の機会を提供します。

＜取組例＞

● パソコン・タブレット教室	障害者の情報収集手段として IT 機器を有効活用ができるよう、障害別に有用なアプリや使用方法について紹介し、日常生活の向上を図る。障害によって会場まで行くことができない人を対象に、訪問相談を実施する。
● 見えにくくなった方の学習	中途視覚障害者を主な対象者として、点字の学習、歩行訓練等を行い、日常生活の向上を図る。
● 中途失聴難聴者のための手話講習会	中途失聴難聴者が、自らのコミュニケーション手段として手話を習得する場として実施する（入門・中級・上級の 3 クラス）ほか、中途失聴難聴者同士の情報交換の場としている。
● 障害のある人も参加しやすい交流活動の場	障害者の孤立化を防止するため、気楽に利用できる交流活動の場として地域活動支援センターを運用し、創作的活動、生産活動の機会の提供、社会との交流の促進を図る。
● 福祉まつり	市内の社会福祉施設・団体が手作りの作品や食品を販売するほか、ステージ上で太鼓や手話コーラスなどの活動発表を行い、施設利用者と地域住民との交流を図るとともに、福祉ボランティア活動に対する市民の関心と参加を高める。
● 障害者文化展	障害のある人に作品発表の機会を提供するとともに、広く障害者福祉の啓発を行い、賞を贈るなど今後の創作を奨励する。



▲ 障害者による作品発表

■施策011 健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組

＜内 容＞ いつでも学び始められる環境づくりを推進します。

＜取組例＞

●市民いきいきリフレッシュ体操	市内の各市民センターで健康体操教室を開催し、市民の健康維持・増進を図る。
●ゆうゆうシニア講座	シニア世代の健康維持や生きがいづくりを目的に、パソコン・タブレット・スマートフォンなどの ICT に関連する講座や健康維持に関するプログラムなどを提供する。
●高齢者施設読書活動支援	図書館への来館が困難な高齢者の入居施設を対象に、図書の出張貸出しや団体貸出しを実施し、身近に読書に親しめる環境の整備を行う。
●介護予防講座	フレイル予防の視点を取り入れ、要介護状態になることを防止し、地域において自立した日常生活を営めることを目的とした、各種介護予防講座を実施する。
●生きがいづくりの教室	高齢者及び障害のある人を対象とし、教養の向上、健康の増進、生きがいの高揚、社会参加の促進、参加者間の交流などを支援する。

■施策012 性や国籍にかかわらない社会参画につながる学び

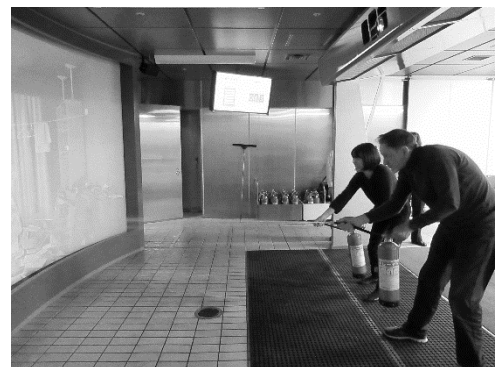
＜内 容＞ 性や国籍にかかわらず、社会参画できることにつながる学びを提供します。

＜取組例＞

●外国人のための防災訓練	地震などの災害に不慣れな外国人に、防災訓練を通じて、災害への対応を身につける機会を提供する。
●男女共同参画に係る講座の開催	男女共同参画社会の実現に向けて、一人一人の個性と能力を発揮できるよう、意識啓発や参画のための学習機会を提供する。
●国際理解講座	外国の文化への理解と外国人との交流を深め、多文化共生の推進を図る。



▲市民いきいきリフレッシュ体操



▲外国人のための防災訓練



〈コラム〉

子どもたちに安全で安心して遊べる場所を ～放課後子ども教室～

近年、子どもたちが放課後、自由に遊べる場所が減少してきているほか、子どもたちが巻き込まれる事件や事故が多く発生していることから、子どもたちが安全で安心して遊べる場がなくなりつつあります。

八王子市では、子どもたちに安全で安心して遊べる場所を確保する目的から、平成19年度（2007年度）から市内小学校区を単位に、放課後や土日、夏休み等に小学校の施設を活用し、子どもたちに安全で安心な居場所を提供する「放課後子ども教室」を実施しています。

校庭での自由遊びのほか、地域ボランティアや保護者・町会など、様々な立場の方の協力を得て、学習指導やスポーツ教室・伝統文化体験・農業体験など、それぞれの学校の地域特性を活かした多様な学習プログラムを展開しています。また、全児童が参加できることから、異学年との交流が図られる場ともなっています。このように、放課後子ども教室は子どもたちに安全で安心して遊べる場所を提供するとともに、地域の方々が活躍する場、多世代間がつながる場としての一翼を担っています。

子どもたちが安全で安心して健やかに育まれるように、放課後子ども教室の実施内容を充実させるとともに、地域の方々の協力をいただきながら、これからも温かく子どもたちを見守っていきます。



第2節 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～

基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～			
目指す姿	●全ての子どもたちの健やかな育ちを地域で支えている。 ●学びが個人にとどまらず、社会や地域での活動に活かされ、人と人との交流が新たな学びにつながり、学習成果が循環している。 ●大学生等が地域で活躍できる機会が充実し、大学生等と地域が高めあって、協働している。		
施策展開の方向性	●地域で子どもと子育て家庭を応援できるよう、家庭教育の啓発を図ります。 ●子育てについて悩みがある保護者や、保護者同士、学校の先生との接し方について分からないことを相談する機会をつくれます。 ●より多くの人が保護者を支援する活動ができるよう、保護者同士や地域をつなぐ人材育成を図ります。 ●市民団体等との協働によるイベントの実施を通じ、市民が学習成果を発表する機会や、地域で活躍できる機会を拡充させ、市民交流を促します。 ●生涯学習を通じて得た知識や経験が、社会や地域での活動に活かされるよう、ボランティアや指導者の育成、イベントの実施を通じて市民のネットワークづくりを支援します。 ●学園都市である本市の強みを活かし、大学・短期大学・高等専門学校と学生、地域の人とのつながりを促します。		
施策の展開	04	学校、家庭、地域で支える子どもの育ち	013 地域全体で子どもの育ちを支える
			014 学校と地域との連携・協働による生涯学習活動
			015 子育て世代がつながるきっかけづくり
	05	地域を豊かにする学びの還元	016 地域での活動のきっかけづくり
			017 地域で活躍するボランティアの養成・支援
			018 地域の課題解決につながる学びの提供
	06	学びをいかし、みんながつながる環境の充実	019 学習成果の発表と学びの広がり
			020 日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成
	07	高校生・大学生等、若者が活躍できる機会の充実	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす
			022 若者の社会的自立に向けた、学びによる支援

基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～

施策の展開04

学校、家庭、地域で支える子どもの育ち

【現状と課題】

- 平成27年(2015年)の市政世論調査において、「家庭の教育力がどう変化しているか」との質問に、「低下している」と答えた市民の割合は55.2%であり、低下している理由として「しつけや教育の仕方が分からない保護者が増えているから」の回答が50.8%と一番多くあります。
- 少子化や核家族化など、子育て家庭を取り巻く状況の変化により家庭での教育力の低下が懸念される中、家庭での自主性を尊重しつつ保護者に対して支援し、学校と家庭、地域・社会との連携・協力して家庭の教育力を高めていくことが重要となっています。
- 地域全体で子どもと子育て家庭を支えていくことをコンセプトに、家庭教育啓発リーフレットを約10年ぶりに見直し、親近感が持てるよう家庭教育を「いえいく」と表現し、「はちおうじっ子の未来を育む4つの合言葉」を入れ、具体的な行動につながるメッセージとしました。
- 就学前から子育てや家庭での教育に悩みを抱えている保護者に適切な支援が届くように、様々な主体と連携して家庭教育に関する情報や学習機会を提供するとともに、就学後も引き続き支援することができるよう、これまで以上に「切れ目ない」家庭教育の支援施策が求められています。
- 保護者同士や学校とのコミュニケーションが困難となり、孤立化する保護者が増えていることから、保護者間や学校とをつなぎ、家庭教育を支援する人材が求められています。

【具体的な施策】

■施策013 地域全体で子どもの育ちを支える

＜内 容＞ 多様化する家庭環境に対し、地域全体で子どもの育ちを支えていきます。

＜取組例＞

●家庭教育啓発リーフレット等の配布	リーフレット・クリアファイルを配布し、家庭内において社会のマナーや基本的な生活習慣等を児童・生徒に身につけてもらうとともに、地域で子どもと子育てを応援するよう呼びかける。
●はちおうじフィーカ☆ファシリテーター養成講座	ファシリテーション能力を向上させる講座を開催し、保護者同士や学校(教職員)・家庭・地域をつなぐ人材を養成する。
●ファミリー・サポート・センター事業	子育ての手助けをして欲しい人とお手伝いができる人が会員登録をして、子育てを地域で相互に助け合う活動を行う。
●学童保育所	放課後に家庭で保育ができない児童を対象に、遊びを中心として異年齢集団の中で社会性を身につけさせながら、一人一人の子どもたちの健全な成長を手助けする。

■施策014 学校と地域との連携・協働による生涯学習活動

＜内 容＞ 学校と地域が連携・協働し、学びによる地域づくりを目指します。

＜取組例＞

●教育人材バンクへのボランティア希望者の登録	学校と地域が一体となり、子どもを育む環境を整備するため、ボランティア希望者を人材バンクに登録する。
●市立小学校における環境教育支援	市立小学校の総合的な学習の時間等を実施される環境教育実習に対して、講師の派遣等の支援を行う。
●放課後子ども教室	平日の放課後や週末、夏休み等に小学校の施設を活用し、地域の人やボランティアの参画を得て全ての子どもたちに安全で安心な居場所を提供する。
●放課後子ども教室と学童保育所との連携拡大	全ての児童の放課後の安全・安心な居場所を確保し、児童が多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後子ども教室と学童保育所の連携による一体型を推進する。

■施策015 子育て世代がつながるきっかけづくり

＜内 容＞ 人と人とのつながりを感じながら安心して子育てできる地域を目指します。

＜取組例＞

●子育てひろば（親子ふれあい広場・親子つどいの広場など）	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として、子育てについての相談、情報提供、助言・援助等を行う。
●子育て応援ひろば	グループワークなどを通じて子育ての中で生じる悩みを解消し、子育て中の保護者を支援する。
●家庭教育支援講座「星とおひさま Fika（フィーカ）キャラバン」ワークショップ	家庭教育支援講座を茶話会（Fika（フィーカ））形式のワークショップで行うことにより、保護者の心理的負担を軽減し、家庭の教育力の向上を図る。



▲子育て支援のグループワーク



▲親子で参加できる体験講座

基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～

施策の展開05

地域を豊かにする学びの還元

【現状と課題】

- 令和元年(2019 年)の市政世論調査において、生涯学習を通じて身につけた知識や技能、経験を地域や社会での活動に活かしている割合は、8.6%にとどまっており、学んだことを地域活動などに活かす「学びと活動の循環」を促すことが必要です。
- 様々な学びを「生活に活かす」「キャリアアップに活かす」など、活動に活かし、「学びと活動の循環」を促すことが必要です。なかでも、生涯学習を通じて身につけた知識や技能、経験を、地域社会で活かし、活躍機会の拡大につなげるとともに、地域への還元が求められています。

【具体的な施策】

■施策016 地域での活動のきっかけづくり

<内 容> 学習した成果を地域活動に活かすため、きっかけづくりを進めます。

<取組例>

●地区運動会・スポーツ大会	総合型地域スポーツクラブや旧体力づくりへ補助金を交付し、スポーツ大会を通じ、地域コミュニティの活性化やスポーツ実施率の向上を図る。
●はちおうじ志民塾	これから定年退職する人や定年を迎えた人を対象に、退職後地域で活動するきっかけづくりをする。
●市民活動入門講座（アクティブ市民塾）	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。
●お父さんお帰りのさいパーティー	シニア世代を対象に、市民活動に関する講演や団体紹介など地域での活動に参加するきっかけづくりをする。
●生涯学習コーディネーター養成講座	自ら講座を企画・運営し、市民の生涯学習活動を支援する「生涯学習コーディネーター」を養成する。

■施策017 地域で活躍するボランティアの養成・支援

<内 容> 地域で活動するボランティアの地域人材を育成します。

<取組例>

●シニア元気塾 ボランティア入門講座	ボランティア活動のきっかけをつくり、高齢者の社会参加促進を図る。
●環境学習リーダー養成講座	市民が自発的に環境保全活動を行う際のリーダー役となる「八王子市環境学習リーダー」を養成する。

●学校図書館ボランティア研修会	学校図書館の環境整備及び読書活動の推進に必要な技術及び知識を習得する。
●日本語ボランティア養成講座	外国人市民の日本語学習支援のための支援者を養成する講座を実施する。
●図書館ボランティア等の連携・支援	図書館事業に関わる関係団体やボランティアと連携し、図書館サービスを拡充するとともに、育成やスキルアップを支援する。
●手話講習会	初級・中級手話講習会や手話通訳者養成入門講座等を開催し、手話通訳ボランティアの養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。
●要約筆記者養成講習会	手話を使えない、中途失聴難聴者の通訳手段である要約筆記技術の習得、要約筆記者の養成の場として、2か年にわたって実施する。
●災害ボランティアリーダー養成講座	災害ボランティアセンターの運営に協力いただく災害ボランティアリーダー（市民ボランティア）を養成するために講座を実施する。

■施策018 地域の課題解決につながる学びの提供

＜内 容＞ 地域で役立つ基礎知識講座を実施します。

＜取組例＞

●はちおうじ出前講座	市職員等が地域の団体等へ出向き、担当業務に関して専門知識を活かした講座を行うことで、市民の生涯学習活動を支援し、意識の向上を図るとともに、市政に対する理解を深める。
●エコひろばでの環境教育	環境について関心を持つきっかけづくりとして、環境教育・環境学習の講座を実施する。
●クールセンター八王子での省エネ講座	地球温暖化対策に興味を持ち、実践につなげられるように、講座を実施する。
●健康づくりサポーターの養成	地域介護予防活動支援事業として、広く健康に関する知識の普及、運動（八王子けんこう体操等）、体力測定の介護予防の活動を推進するため、健康づくりサポーターの養成を行う。
●介護人材養成研修	市内介護サービス事業所等への就労希望者を対象に、介護職に必要な知識・技術を学ぶ「介護に関する入門的研修」及び「生活支援ヘルパー研修」を実施する。合わせて就職相談会を実施し、介護人材の確保を図る。



▲地域活動のきっかけづくり



基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～

施策の展開06

学びをいかし、みんながつながる環境の充実

【現状と課題】

- 令和元年(2019 年)の市政世論調査において、生涯学習を通じて身につけた知識や技能、経験を地域や社会での活動に活かしている割合は、8.6%にとどまっており、学んだことを地域活動などに活かす「学びと活動の循環」を促すことが必要です。
- 市民が、日頃の生涯学習活動の成果を、様々なイベントの開催を通じて発表したり、交流したりする場があることが重要です。

【具体的な施策】

■施策019 学習成果の発表と学びの広がり

＜内 容＞ 学習成果を発表し、広く市民の参加を促し、交流による学びはじめるきっかけづくりを行います。

＜取組例＞

●生涯学習フェスティバル	日々の学習成果を作品展示やステージを通じて発表する機会を設け、市民の自発的な学習活動を行うきっかけづくりと、学びを通じた市民交流の場を提供する。
●八王子市立小中学校合同作品展「おおり展」	児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。
●市民センターまつり	地域コミュニティ拠点の市民センターで、住民協議会による市民センターまつりを開催し、コミュニティ活動の育成・活性化を目指す。
●南大沢総合センターまつり・川口やまゆり館まつり	生涯学習センターを利用している団体と協働して日頃の学習の成果を発表する機会を設け、市民の交流の場を提供するとともに、地域の活性化につなげる。
●八王子まつり	地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚を図る。
●八王子いちよう祭り	有志市民によるまつりで、地域の発展と自然と心のふれあう地域文化の社会的な広がりを目指す。
●フラワーフェスティバル由木	由木地域の活性化とコミュニティづくりを図る。
●八王子市民文化祭	市民による文化芸術活動の発表及び市民への鑑賞の機会を提供することにより、市民文化の振興を図る。
●八王子城跡まつり	親子で楽しめるイベントを地元や市民団体等とともに協働して開催し、八王子市の歴史に興味を持ち、郷土愛の醸成を図る。

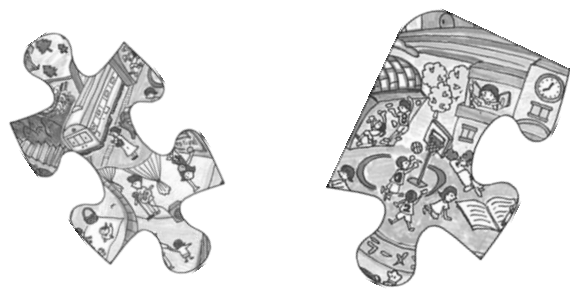
●消費生活フェスティバル	消費者団体相互の交流を図るとともに、消費者団体等と連携して、消費生活に関する情報を体験や遊びを通して消費者に提供する。
●健康フェスタ・食育フェスタ	例年、5月第3日曜日を「市民健康の日」と定め、健康づくりや食育について、子どもから大人まで、楽しみながら、体験できる学びと市民交流の場を提供する。
●八王子環境フェスティバル	環境の保全についての関心と理解を深め、環境保全活動への参加意欲を高めることを目的とし、日々の学習成果を発表する機会を設け、市民の自発的な学習活動のきっかけづくりと、学びを通じた交流の場を提供する。

■施策 020 日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成

<内 容> 日々の練習の成果を大会で発揮し、更なる向上へとつなげます。

<取組例>

●こども将棋大会	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など、子どもたちの健全育成を図る。
●市民スポーツ大会	スポーツにおける市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供し、競技の普及、競技力の向上を図る。
●市民レクリエーション大会	レクリエーション活動における市民の日頃の練習の成果を発揮する場を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。
●市民スポーツレクリエーション大会	スポーツ・レクリエーション活動における市民の日頃の練習の成果を発揮する場を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。
●全関東八王子夢街道駅伝競走大会	公道がコースとなる駅伝では日本最大級の大会として、八王子市の魅力を市内外へ発信し、スポーツの振興と地域の活性化を図る。



▲日頃の成果を発表



▲全関東八王子夢街道駅伝競走大会

基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～

施策の展開07

高校生・大学生等、若者が活躍できる機会の充実

【現状と課題】

- 学園都市である本市の強みを活かし、学生が、地域社会で多様な人と関わり、自らの力を試し、経験を積むことにより、自ら学んでいることが社会で役立つことを実感するような、大学・短期大学・高等専門学校や学生と地域とのつながりが期待されています。
- 高校生が社会を担う人材へと成長し、社会性を身に付けるため、高等学校が存立する地域でのボランティア活動に参加するなど、地域コミュニティとの関わりができることが求められています。
- 若者（義務教育終了後から 30 歳未満）をめぐる課題は多様化・複雑化している中、若者の成長と社会的自立に向け、地域社会とのつながりをつくるなど、地域全体で若者を応援する環境づくりが求められています。

【具体的な施策】

■施策 021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす

<内 容> 大学・短期大学・高等専門学校や、高校生・大学生等と、地域とがつながるきっかけづくりを行うとともに、自主的な活動や活躍を支援します。

<取組例>

● 大学生等が参画する生涯学習センター講座の実施	大学生等の知識や大学等の有する設備を活用した講座を地域の大学等と協働で実施し、市民の学習機会の一層の充実を図る。
● 八王子地域合同学園祭 ★学生天国★	大学コンソーシアム八王子加盟 25 大学等の学生で構成する学生委員会により開催し、学生同士や市民の人たちとの交流を図る。
● 学生企画事業への支援	大学コンソーシアム八王子加盟 25 大学等の学生が、八王子地域を舞台にイベント等を企画・運営・実施する際に、支援する。
● 学生発表会	大学コンソーシアム八王子加盟 25 大学等の学生が日頃の研究成果を市民・企業・市政などに向けて発表する。
● 八王子学生CMコンテスト	学園都市八王子の特色を活かし、学生ならではの視点で八王子市の魅力を動画 CM にした作品を募集し、コンテストを開催する。
● 成人式(令和4年度(2022年度)からは「二十歳を祝う会」)	成人式の開催に当たって、大学生等を中心とした実行委員会を立ち上げて企画運営に参画するとともに、高校生がボランティアとして運営に参画することにより、式典を協力してつくりあげる社会経験の場とする。
● 八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル	市内高等学校吹奏楽フェスティバルを高校生による運営とすることで、青少年の音楽活動の成果発表の場を確保するとともに、イベント開催に参画する機会を提供する。
● 児童館・こどもシティ	子どもたちが、社会性や協調性を育む機会に、学生が参加し、子どもと学生・地域の人との交流活動を行う。

■施策 022 若者の社会的自立に向けた、学びによる支援

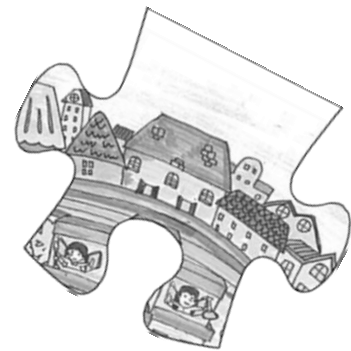
＜内 容＞ 若者の社会的自立に向け、生涯学習活動を通じて、地域全体で若者を応援・支援します。

＜取組例＞

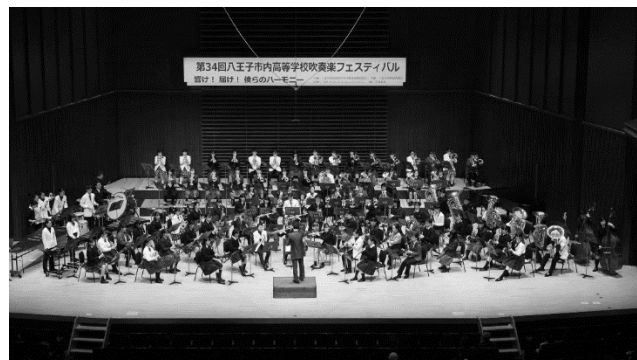
● 支援を必要とする若者の学び直しの場の提供	ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する、学びの継続や学び直しに向けた活動の場を提供する。
● 若者が参加できるボランティア活動の充実	ボランティアが担う役割を明確にするとともに、ボランティア情報を広く提供する。
● クリエイトライブステージ	日ごろの音楽活動の成果発表の場として、40 歳以下の団体・個人を対象にステージを提供するとともに、出演者・来場者間の交流を図る。
● 若者の視野が広がる教育・普及啓発	若者にとって生きるヒントが得られるような学びの機会を充実する。



▲若者による成人式の企画についての会議



▲学生が日頃の研究成果を市民・企業・市政に向けて発表



▲市内高等学校合同バンドの演奏



家庭教育支援チーム

＜コラム＞

子育てや学校での疑問や悩みをスッキリ

～家庭教育支援講座「星とおひさま Fika キャラバン」ワークショップ～

近年、核家族化の進行や共働き家庭の増加、インターネットやスマホの普及など、子育ての環境の変化により、人と人とのつながりが希薄になっていると言われています。こうした中で、子育てや子どもの学校生活について、ちょっとした疑問や悩みがあっても、気軽に相談できる機会が少なくなっているのではないのでしょうか。

八王子市教育委員会では、小学生や小学校に入学予定のお子さんをもつ保護者を支える取組として、八王子市家庭教育支援チーム（星とおひさま Fika キャラバン）との協働により、子育てや学校での疑問や悩みを減らすことを目的とした家庭教育支援講座「星とおひさま Fika キャラバン」ワークショップを開催しています。

Fika（フィーカ）とは、休憩をとること、身近な人と「お茶する」意味で、北欧の習慣です。このワークショップでは Fika を取り入れ、茶話会形式でリラックスした雰囲気の中、ファシリテーターの進行により、ミニゲームやおしゃべりにより、参加者同士のコミュニケーションを図るとともに、子育てや学校での疑問や悩みを共有することで、保護者の心理的な負担を和らげるお手伝いをしています。

参加したパパやママからは「悩みを抱えているのは自分だけではなくて安心した」「日々接するコミュニティ以外の人と知り合えて良かった」といった声をいただいております。これからも、ゆるやかな大人のつながりづくりをサポートしていきます。

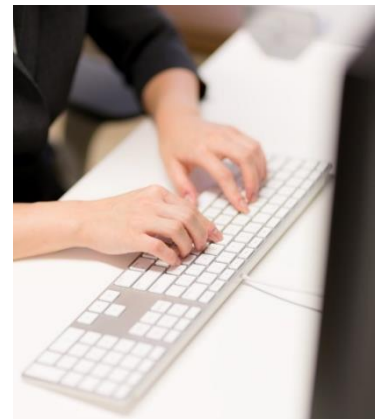


第3節 学びを支える基盤づくり

基本施策3 学びを支える基盤づくり			
目指す姿	●生涯学習情報を広報紙・インターネットなどの複数の媒体で、分かりやすく提供し、市民の生涯学習活動の充実につながっている。 ●生涯学習施設が、市民が気軽に集い、つながれる、学びのきっかけづくりの場として機能している。		
施策展開の方向性	●生涯学習を始めたい市民、学習をより深めたい市民、サークル活動やボランティア活動など人とのつながりを求める市民が、必要とする生涯学習情報を分かりやすく入手できるよう、情報提供の環境を充実します。 ●市民が気軽に相談できる環境のほか、専門的な質問に対して、適切な案内と助言を行うことができる人材を養成するなど、相談体制を充実します。 ●身近な場所で、生涯学習活動がしやすいように、環境整備を進めます。		
施策の展開	08	学びのきっかけとなる情報の提供・学びの提供	023 学びへの新たな参加を促す取組
			024 生涯学習の相談体制の充実
			025 生涯学習機会の情報の発信
	09	生涯学習環境の整備	026 生涯学習環境の充実と活動の場の提供
			027 誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり
			028 ICTを活用した生涯学習機会の充実



▲はちおうじ出前講座の冊子



▲インターネットの活用

基本施策3 学びを支える基盤づくり

施策の展開08

学びのきっかけとなる情報の提供・学びの提供

【現状と課題】

- 平成30年(2018年)の市政世論調査において、市が市民の生涯学習活動を支援していくにあたり、どのような施策を推進すべきか聞いたところ、学習活動を行う場の整備(40.7%)が最も多く、趣味・教養から資格取得まで、幅広い分野の学習機会の提供(33.9%)、生涯学習についての情報提供の充実(20.7%)の順となっています。
- 平成30年(2018年)の市政世論調査において、生涯学習活動の情報入手方法を聞いたところ、インターネットが最も多く3割強(33.2%)となっています。
- SNSを用いた講座開催情報の発信では、Facebook、Twitterともに年間約200件の情報発信を行っています。
- イベントや講座の開催情報については、市のホームページのほか、生涯学習施設の施設予約システム、サークル・団体情報や講師指導者情報を集約した「情報広場」で提供していますが、分野ごとに構成されているため、集約された情報を提供できていないことが課題となっています。
- 生涯学習の相談場所について市民に十分周知されていないことから、市民が気軽に相談できるように周知を図るほか、講座の選び方、サークルの結成方法、活動場所の確保などに関する質問に対して、専門的に適切な案内と助言を行うことができる人材を養成するなどの相談体制の充実が求められています。
- イベント情報をリアルタイムに届けたり、情報を介して市民と市民をつなげたりする取組が、現代における生涯学習情報施策として期待されています。

【具体的な施策】

■施策023 学びへの新たな参加を促す取組

＜内 容＞生涯学習活動に、新たに参加するように促す取組を行います。

＜取組例＞

●生涯学習活動への参加の少ない市民が参加しやすい講座等の取組	生涯学習活動に、新たな参加を促すような講座等を企画・運営する。
--------------------------------	---------------------------------

■施策024 生涯学習の相談体制の充実

＜内 容＞生涯学習について気軽に相談できる体制を整備します。

＜取組例＞

●生涯学習相談	生涯学習情報を提供するほか、サークル結成・運営などの学習要望に対して助言する。
---------	---

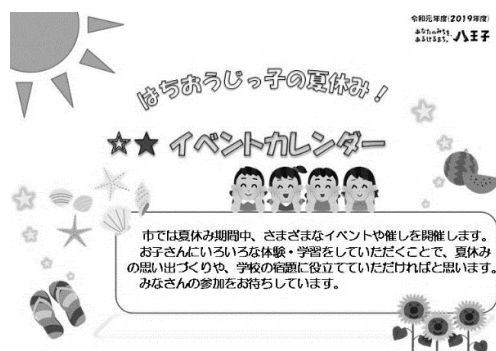
●学習支援委員による相談	生涯学習に関する相談を受け、助言や情報提供を行う。また、体験学習やワークショップを行い、生涯学習のきっかけづくりを行う。
--------------	--

■施策 025 生涯学習機会の情報の発信

＜内 容＞ 講座・教室などの学習情報を一元化して市民に分かりやすく提供します。また、生涯学習につながる情報についても分かりやすく市民に届けます。

＜取組例＞

●SNSによる生涯学習講座・イベント情報の発信	講座・イベント・フリースペースの情報について、Facebook と Twitter を通じて発信する。
●イベントカレンダーによる情報発信	夏休み期間中に実施する小学生向けの事業を集約した小冊子「夏休みイベントカレンダー」など、学習情報を一元化して市民に分かりやすく情報提供する。
●広報「はちおうじの教育」の発行	市の教育行政情報や学校、教育施設の情報を提供し、市民に教育施策を周知する。
●はちコミねっと	市民活動に関する情報発信を行う。
●市民センターだよりの発行	地域住民協議会が発行する情報誌を活用し、身近な地域情報を発信する。
●消費生活情報の提供	消費生活ニュース、くらしのレポート、広報消費生活特集号等を発行し、消費生活に関わる情報提供を行う。
●外国人向け情報誌「Ginkgo」の発行	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実を目指し、年 6 回、多言語で、外国人向け情報誌を発行する。
●男女共同参画情報紙「ばれっと」の発行	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供する。



▲夏休みイベントカレンダーの冊子



▲講座・イベント情報の発信

基本施策3 学びを支える基盤づくり

施策の展開09

生涯学習環境の整備

【現状と課題】

- 平成30年(2018年)の市政世論調査において、市が市民の生涯学習活動を支援していくにあたり、どのような施策を推進すべきか聞いたところ、学習活動を行う場の整備(40.7%)が最も多く、趣味・教養から資格取得まで、幅広い分野の学習機会の提供(33.9%)、生涯学習についての情報提供の充実(20.7%)の順となっています。
- 生涯学習の場の確保のため、生涯学習センターの空き部屋を活用した学生のための自習室「フリースペース」を、全ての土日祝日で開催しました。
- イベント情報をリアルタイムに届けたり、情報を介して市民と市民をつなげたりしていくような取組が、現代における生涯学習情報施策として期待されています。
- 働きながら、子育てしながらなど、学びたい現役世代のために、講座等の情報を分かりやすく提供することや、託児サービスや手話通訳など、誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくりを進める必要があります。

【具体的な施策】

■施策026 生涯学習環境の充実と活動の場の提供

＜内 容＞生涯学習施設の充実を通して、生涯学習環境の向上を図ります。また、学びたいときに集える場所を提供します。

＜取組例＞

●生涯学習センター	地域住民にとって身近な学習拠点であるほか、交流の場、コミュニティ形成の場として、学習ニーズや地域の実情に応じた学習機会を提供する。
●学習室の貸し出し	団体・個人に学習室等を貸し出し、市民の自発的な生涯学習活動を支援する。
●フリースペース	空き学習室を自習スペースとして開放し、学生の自主的な学習を支援するとともに、若い世代の施設利用を促進する。
●図書館	「地域の情報拠点」として、子どもから高齢者まで多様な利用者の学習活動を支え、新たなニーズに対応する。
●地区図書室の図書館化	身近な読書環境の整備のため、地区図書室を図書館として整備する。
●八王子駅南口集いの拠点整備	八王子医療刑務所跡地に整備する公園、歴史・郷土ミュージアム(新郷土資料館)とともに、学習・交流機能を持つ交流スペースや図書館機能を持つ憩いライブラリを整備する。
●若者の活動拠点づくり	既存施設にあり方の見直しにより高校生や大学生などをはじめとする若者の活動の場としての機能を持たせるなど、生き生きと活躍できる若者の拠点づくりを進める。

■施策 027 誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり

＜内 容＞ 子育て中の人も含め、誰もが学習しやすい支援環境を推進します。

＜取組例＞

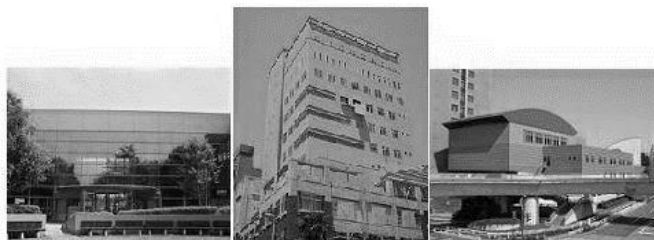
●施設内のサイン計画改善	言語や障害に左右されず、施設内を不自由なく使用できるように表示を改善する。
●学習支援のための託児	子育て中の市民等の学習支援として、満1歳～未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。
●障害者の参加を促す環境整備	障害者が講座等への参加に必要な介助者や手話通訳者の受講料を無料とするほか、車いす使用者用の机や拡大資料を提供し、障害者が参加しやすい環境を整備する。

■施策 028 ICTを活用した生涯学習機会の充実

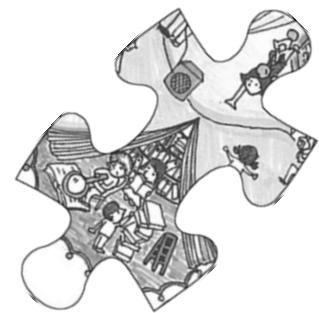
＜内 容＞ ICTを活用して、いつでもどこでも学習できる環境を充実します。

＜取組例＞

●ICTの活用	図書館における、電子書籍の拡充、ホームページ等による情報発信の充実を図る。
---------	---------------------------------------



▲市内の生涯学習センター3館



▲八王子市電子書籍サービス